

令和 5 年度 まちづくり移動町長室 開催結果概要

日 時：令和 5 年 11 月 12 日(日)10:00～12:00

場 所：一色小学校

参加者：19 名（ほか地区長 5 名）

一色小学校

役場新庁舎整備等の進捗状況について

新庁舎周辺の動線・交通対策等について

参加者	防災広場について、大型車両が入る通路の確保や駐車場は足りるか。
町長	果樹公園側からも車両が抜けられるよう動線を考える。 また、公共交通も庁舎前まで入るなど、使いやすいようコミュニティバスルートも検討する。

図書館の学習スペースの配置について

参加者	図書館の子どもコーナーを移動してモール前のガラスを撤去すると説明があったが、子どもたちの学習スペースと打ち合わせスペースを近くに配置すると学習しづらいと思う。学習スペース等の配置について、中高生からアンケートを取るなど意見を取り入れてほしい。
町長	大和市文化創造拠点シリウスを参考にしているが、壁側に学習スペースがあった。打ち合わせスペースとのすみ分けを考えていきたい。
参加者	小田原市のミナカ小田原の図書館は学習スペースと打ち合わせスペースの分けがうまいと感じた。ぜひ参考にしてほしい。
施設再編課	ミナカ小田原の図書館を見学した。これらを参考にするとともに、中高生にも意見を聞きながら進めていく。

現庁舎等の跡地の活用について

参加者	新庁舎整備を進める中で、現庁舎や町民センターの跡地利用も一体的に検討してほしい。また、先日、大磯町新庁舎の新聞記事に国の交付税措置を活用するとあったが、二宮町も活用するのか。
町長	駅ビルやマンション等に活用したらどうかという話もあるが、都市計画上の制限もあり難しい。こういった活用の可能性があるのか検討していきたい。 新庁舎の財源については、基本は大磯町と同じ緊急防災・減災事業債を使用する予定である。可能な限り補助金を活用して建設する。

新庁舎建設費用について

参加者	人口減少とともに今後収入が減っていくことが見込まれるが、新庁舎建設などにかかる具体的な費用を教えてほしい。
町長	建設費用は、資材の高騰や新技術の開発などにより変わってくるため、今後の基本設計・実施設計の中でお示しする。 福社会館は 2 階建て程度の施設を想定しており、それほど費用をかける予定はない。過去、ラディアン建設やラディアン花の丘公園整備の際も、それぞれ一時的に事業債は増加した。それらの事業債を償還し、減少してきた今だからこそ新庁舎整備などを進めることができる。事業債が大きくなりすぎないように計画的にハード面の整備を進めていく。

町の状況・今後の施策について

小学校給食の無償化について

参加者	二宮町独自の支援施策として、小学校の給食費無償化を実施してほしい。 その財源として、小児病院跡地や東京大学果樹園跡地（斜面地）等の売却や企業誘致、軽自動車税の超過課税などを検討してほしい。
町長	財源の課題もあり、温水プールを廃止することにより、まずは中学校から開始する予定である。 小児病院跡地は、より具体的に民間活用を検討し結論を出していきたい。 また、軽自動車税の超過課税については可能性について考えていく。

防災行政無線での安否確認等について

参加者	地域住民の安否確認について、自主防災組織での周知には限界がある。 町の防災行政無線で災害地区本部の開設や安否確認の案内を放送できないか。
町長	防災行政無線ではなく、現在はスマートフォンアプリ等での確認等も普及している。そのような手法についても研究していきたい。

高齢者施策について

参加者	百合が丘は起伏が多く高齢者対策が必要だと思う。高齢者施策についての説明してほしい。
町長	自宅で元気に過ごせるよう、ごみ出し支援や個別避難計画等を整備することが重要だと考える。現在ごみ回収について業務委託をしているが、委託のままごみ出し支援を依頼すると高額な試算となったため、手法を検討している。 このほか、各地区での問題の解決方法を考えていきたいので、地域で気づいたこと等があれば声を寄せてほしい。

自治会の加入維持等について

参加者	高齢等のため、役員をするなら自治会を抜けるという話が寄せられる。 また、広報の配布も負担という声もあるので、他地区の解決事例等を教えてほしい。
町長	地区単位の状況を、地区長連絡協議会等でお知らせする。

観光に伴う収入等について

参加者	観光事業を進めることによる収入はどう予測しているか。
町長	観光協会の事業費について、現在は町が補助しているが、法人化により自由度が高まると期待している。菜の花に関連する事業に拘らず、良い案があれば提案いただきたい。

福祉対策の推進について

参加者	地域の精神保健福祉対策の必要性をどう考えているか聞きたい。
町長	町は直接実施しておらず、県の保健福祉事務所や精神保健福祉センターが対応している。 今後は町でも対策が必要となってくると考える。
参加者	先日ゲートキーパー養成講座を受講して必要性を理解した。引き続き啓蒙活動を実施していただきたい。

公共交通の充実について

参加者	現在神奈中バスが運行しているが、今後減便・廃線も考えられる。 デマンドバスやコミュニティバス等、それぞれの手法の良いところを研究し充実を図ってほしい。
町長	自動運転技術等が進んでいるが一足飛びには導入されないと思う。公共交通についてさまざまな手法を研究していきたい。

令和5年度 まちづくり移動町長室 アンケート結果

日時：令和5年11月12日(日) 10時~12時

場所：一色小学校体育館

回答率

出席者数	24人
------	-----

アンケート回収者数	16人
-----------	-----

アンケート回答率	67%
----------	-----

